

日建連表彰 BCS賞

[BCS賞とは](#)

[受賞作品検索](#)

[選考委員紹介](#)

[応募方法](#)

[ENGLISH](#)

[ホーム](#) > [建築](#) > [BCS賞](#) > 年度別検索結果

年度別検索結果

第65回受賞作品（2024年）



石川県立図書館



エスコンフィールドHOKKAIDO



Otemachi One



OKI本庄工場H1棟



春日台センターセンター



京都東山計画（山荘 京大和・パーク ハイアット 京都）



高槻城公園芸術文化劇場



東京ミッドタウン八重洲



ところざわサクラタウン



那須塩原市図書館 みるる



福井県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館



MIYASHITA PARK



明治大学創立140周年記念 和泉ラーニングスクエア



屋島山上交流拠点施設「やしまる」



読売テレビ新社屋

－第65回BCS賞－

第65回BCS賞には、多くの地域から、74件の応募がありました。建物用途は事務所ビル（13件）が最多で、そのほか、学校施設（9件）、複合施設（8件）、官公庁舎等施設、住宅（各5件）、スポーツ施設、文化会館（各4件）、博物館、図書館、ホテル（各3件）、展示場、劇場、商業施設、病院・医療施設、研修施設、工場（各2件）、美術館、斎場、福祉施設、研究所、駅・空港・ターミナルとなっています。

BCS賞の選考は、まず選考委員12名による第一次選考が実施され、第一次選考を通過した作品に対して、選考委員による現地調査と学識委員による専門分野評価を実施いたしました。

現地での建築主、設計者、施工者等からの実際の作品に即した説明や質疑を踏まえ、選考委員全員による合議での厳正かつ詳細な審査が行われ、受賞作品15件が選ばれました。

BCS賞の特色の一つは建築主・設計者・施工者による「三位一体」を重視するところにありますが、今回も、建築主の熱い想いを設計者・施工者とその技術や叡智を結集して具現化した作品が多くありました。また、日建連会員会社以外の施工作品が数多く見受けられました。これはBCS賞が日建連以外の会社にも広く認知されたことをうかがわせる結果となりました。